

彦根統合新校設置懇話会 第4回会議 概要

1 日時

平成25年12月25日(水) 10:00~12:00

2 場所

県立彦根翔陽高等学校 セミナーハウス

3 会議の内容

統合新校の校名案について

4 出席者

(1) 委員

岡崎 正彦 委員(彦根市PTA連絡協議会 会長)

福渡 努 委員(滋賀県立大学人間文化学部 准教授)

藤田 隆行 委員(彦根西高等学校同窓会 会長)

堀川 英雄 委員(彦根市企画振興部 部長)

宮野 由紀絵 委員(彦根西高等学校 学校評議員)

八谷 啓子 委員(彦根翔陽高等学校 学校評議員)

※ 杉本 定幸 委員(彦根翔陽高等学校同窓会 会長)は欠席

(2) 統合新校開設準備室等

小林 庄司 統合新校開設準備室長(彦根翔陽高等学校長)

篁 大英 統合新校開設準備室参事(彦根西高等学校長)

勝身 真理子 県教育委員会事務局管理監(学校支援課長事務取扱)

5 主な意見

- 校名案を絞っていただき、懇話会の総意としてまとめていただきたい。
- その際、校名案を選定した理由を考えて校名候補をいくつか絞ってもらうか、優先順位をつけてもらっても良い。
- 両校ができた歴史から考えると、元々同じ学校であったことを含めて考えた方が良い。
- 対等の統合という考え方から、校名には両校の名前を入れるという考えであったが、どちらかの校名でも良いかと考えている。今までは、「彦根西」と思っていたが、西高の流れを汲んだ「翔陽」でも良いと思う。
- 「彦根西」「彦根翔陽」も候補として残してほしい。
- 「西」または「翔または陽」が付く校名も候補にしたい。
- 「彦根西翔や西陽などの両校の一文字を組み合わせたもの」を候補にしたい。
- 「翔」や「陽」を入れた校名を付けることへの思い入れはよく分かる。「西」を使うのは立地

- する位置から考えると付けにくい。そう考えるとどれも使わない方が良いのではないか。
- これから新しい高校に通う生徒の立場からすると、「西」や「翔陽」は付けない方が良い。
 - 彦根翔陽高校は最近ようやく知名度が上がったので、「翔陽」の名を残してほしい。
 - 校名は、一体何を示すものかという議論も大切である。例えば、両校の名前を残すということは、そのイメージが残るし、現状が目標になってしまう。もし両校の名前を残す場合には、十分な選定理由が必要である。
 - 願いが込められていれば結果的に両校の文字を合体したものになることは良い。ただし、統合するから、単に両校の校名の文字をとって付けるという折衷案ありきで考えてはいけない。
 - 「西」の文字を使うことは、彦根の地域からすると違うかもしれないが、あってもよい。
 - 「彦根翔西」「彦根西翔」などは、2校を足して2で割ったというイメージ。
 - 候補として「彦根翔陽」、「翔西館」、「彦根西翔学館」、「彦根芹川」をあげたい。「館」「学館」が付いた校名は少ない。両校の校名の一字ずつ付けることは卒業生の思いが入ることにもなる。
 - 「翔陽」の校名は、全国に数多く存在する。頭に「彦根」を付けないと、どこにあるのか、他府県の人にはわかりにくい。
 - 芹川のほとりにある「芹」が付いた校名も候補としたい。
 - 「総合」と付く校名は近隣校の校名に付いているので避けた方が良い。
 - 新校が将来、近畿大会や全国大会に出場した場合、所在地を明確に知ってもらうために、「彦根」は是非付けてほしい。
 - 他府県で使われている校名は避けた方が良い。
 - 校名候補としてあげたものに、「彦根」が付いてない場合、「彦根」を付けて考えることは可能だと考える。
 - 両校の校名は外して、全く新しい校名を考えた方が良い。
 - 新校が目指すものから考えたい。「彦根」が付く校名にはこだわらなくても良いのではないか。
 - 校名だけではなく、校歌のなかに両校の歴史や伝統を残していく選択も可能ではないだろうか。また、制服や同窓会名に、両校の歴史や伝統を残すことも可能である。
 - 伝統を引き継ぐことは校名だけで考えるものではないと感じている。3年間の教育活動を通して、生徒像が構築され、両校の伝統は教育内容などでも引き継がれていくものである。
 - 新校を創るのだから新しい校名が良い。
 - これから通う生徒に何が大切かを考えて付けるという視点を持って考える。
 - 「弘道館」や「彦根」は、その歴史的な関係から校名候補として挙げにくい。
 - 校名は、読みやすいものが良い。特にローマ字にした場合、あまり長くならないような校名が望ましい。「芹(せり)」は「きん」とは読みにくい。
 - 委員の意見には、校名には「彦根」が付いた校名が良いという意見が多かった。
 - 委員からいただいた具体的な校名を整理してみると、「彦根芹川」、「翔陽」、「翔西館」、「彦根旭」、「彦根彩華」、「彦根清翔」、「彦根西翔学館」、「彦根中部」、「彦根飛翔」などが候補としてあげられた。なお、「翔西館」には「彦根」を冠することも含めて考える。
 - 本日の会議では十分議論を尽くしていただいたとは言えないので、1月中には再度懇話会を開催させていただく。